

野間清治 のまきよぢ 出版人。明治十一年十一月十七日群馬縣生れ、昭和十二年十月十六日歿（八七—一九二）。號天黃生。群馬縣立師範學校及び東京帝國大學附屬臨時教員養成所卒。中學校教員等を経て、明治四十二年大日本雄辯會（のち講談社）を創業。翌年雜誌『雄辯』を、爾後『講談復讐部』、『少年俱樂部』、『婦人俱樂部』、『キング』等九誌を創刊。

著書『體験を語る』（昭和五年六月）『大日本雄辯會講談社』、『處世の道』（昭和五年九月一日大日本雄辯會講談社）、『出世の礎』（昭和六年二月）『大日本雄辯會講談社』、『修養雜誌』（昭和六年三月五日大日本雄辯會講談社）、『白米親善北太平洋横斷飛行に就いて東情を板橋として満天下に訴ふ』（昭和六年四月二十五日報知新聞社）、『榮之ゆく道』（昭和七年七月十一日大日本雄辯會講談社）、『世間雜誌』（昭和十年十一月五日大日本雄辯會講談社）、『私の半生』（昭和十一年七月一日千倉書房）、『野間清治言志録』（昭和十四年十月十六日大日本雄辯會講談社）等。

文獻・團體著作『雜誌王野間清治傳』（二版・昭和六年九月十日新聞解放社）、荒木武行著『人物評論野間清治論』（昭和六年九月十五日全線社書房）、百々牧三著『野間清治と藤原銀次郎』（昭和十年十一月十一日政道社）等。

